

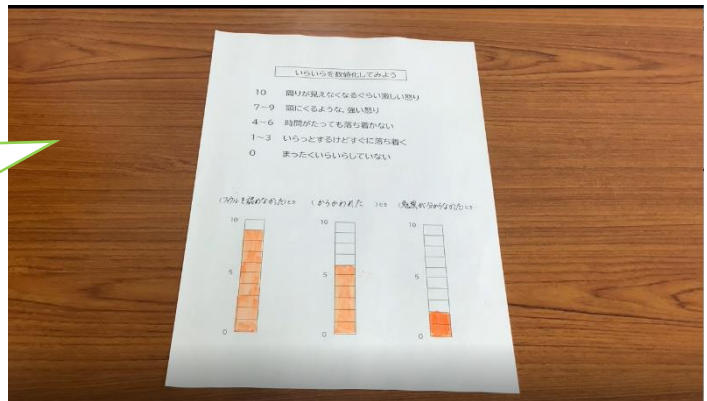
## 授業動画「感情のコントロールにつながる学習」について

第3章「通級による指導の展開例」の「I 感情のコントロールが苦手な生徒」の「学習内容① 自分がどんなときに怒りを感じるのかを理解する学習」を授業動画にしました。展開例とは性別や状況は若干異なっており、50分間の授業を約8分間に短縮しています。生徒とのやり取りや意見の取り上げ方等を中心に通級による指導の様子をイメージしていただければと思います。

動画に登場する生徒は、感情のコントロールが苦手でかっとなりやすく、暴言を吐いたり物に当たったりしてしまいます。この行動の背景には、気持ちを言葉でうまく伝えられないことや気持ちを落ち着かせる方法が分からないことがあるのではないかと捉えました。気持ちが落ち着いた後には、自分の行動を振り返る力や、教師の指導を聞き入れる素直さがあります。この強みを生かすような指導を考えました。

本時は通級による指導を開始してから数ヶ月経った時期を想定しています。生徒自身がどんなときに怒りを感じるのかを理解し、怒りをコントロールするための具体的な対処方法を考える学習を行います。

怒りを数値化することで自分の感情を客観的に捉えさせ、同じ怒りでも場面や状況によって度合いが異なることを理解させています。



怒りを感じたときの対処方法を一緒に考え、自分に合った対処方法を練習させながら、実生活に生かせるようにしています。

